

# お知らせFROM雑賀幼稚園

R7年3月



3/14  
(金)

## 修了証書授与式

風光る旅立ちの春を迎え、修了証書授与式を終えました。卒園生4名に修了証書を渡しました。式辞では、それぞれの成長のあとを話しました。そして、これからも応援している気持ちを伝え、小学校生活へのはなむけの言葉を贈りました。



修了証書授与



思い出を胸に



式後、もう一度歌の披露



あしがる君が  
お祝いに来てくれました

3/5  
(水)

## お別れ遠足

バスに乗ってサンレイクへ行き、  
レザークラフトを体験しました。  
楽しい時間を過ごし、満足顔で作  
品を持ち帰りました。



## 【御礼】

修了祝いとして、更生保護女性会より手作  
りの人形を、雑賀地区交通安全対策協議会よ  
り祝い品をいただきました。



2月

## ケアセンター咲花（雑賀町）訪問

園児4名は、通所の皆さんと手遊びをしたり折紙を折ったりし、楽しい時間を過ごしました。美味しい食事と一緒にいただきました。歓迎していただきました。

3月に入り、通所の代表3名の皆さんが来園。手作りの万華鏡をいただきました。



## 福島漁業 ～震災から今～

昨年福島県いわき市を訪れ、県漁連会長にお会いする機会を得ました。沿岸漁業は原発事故直後から操業自粛を余儀なくされた。モニタリングを重ね試験操業をしながら本格的な操業へ。水揚量は年々増加しているが、令和5年現在、震災前の26%に留まっている。etc. 処理水の海洋放出にいたる話も伺いました。

次の言葉が心に残りました。「原発によって町は潤った。共存しなければならない。事故が起こる確率の問題ではあるが、震災前に避難計画や訓練がなかったのは問題。避難計画と訓練は必要である。『情報を公開すると住民が不安になる』という言い訳は通用しない。情報公開は必要。これからも反原発の声は続けてあげてほしい」。

政府や東電に対する怒りや不満が多く出ると思っていましたが、穏やかに話される姿に感銘を受けました。想像を絶するご苦労ご心労があったと推察しますが、それを感じさせない人柄にふれた90分でした。震災前から14年間の会長職。星霜を重ね時勢を達観した人との出会いでした。



## Coffee Break



春の息吹を感じる今日この頃。別れと出会いがあり、新たな一步を踏み出す時節。今年はいつもと違う春を迎えました。雑賀幼稚園とお別れすることになりました。

緑豊かな環境のもと、保護者の皆様、地域の皆様に温かく見守られ、こどもたちの元気な声が園庭やたけのこ山に響く毎日でした。私にとって、人に恵まれた歳月でした。多くの方に支えていただきました。皆様、ありがとうございました。

こどもたちの健やかな成長をこれからも祈っています。

これまで「雑賀っ子の風」をお読みいただき、ありがとうございました。

